



しほろ

平成26年 5月 No.152

議会だより

■発行／士幌町議会 ■編集／士幌町議会広報特別委員会
ホームページアドレス <http://www.shihoro.jp/assembly/>



みのり豊かな出来秋を願って(ビートの移植作業)

3月定例会

26年度の主要施策と予算ほか……………2ページ

一般質問

「ユートピアメールについて」ほか4件……………4ページ

平成26年度予算委員会質議……………6ページ

委員会調査報告

生ごみ資源化について……………10ページ

国民健康保険病院の運営について……………11ページ

かけ橋

「教育委員就任にあたって」

士幌町教育委員会委員 時光 早苗さん……………12ページ



平成26年
第1回
定例会

平成26年度一般会計ほか7特別・1事業会計

総額120億円の予算を可決

前年度とほぼ同額の大型予算



第1回定例会が、3月7日から17日までの会期で開会。初日は行政報告・教育行政報告、町政および教育行政執行方針ほか4件の報告後、陳情1件を産業厚生常任委員会に付託。11日は、5人の議員が一般質問に登壇。条例案5件、一般議案5件、人事案3件、補正予算を審議後、平成26年度全会計予算審査特別委員会を設置し、14日まで審査を実施（質疑の要約は7ページに掲載）。

14日は本会議を再開し、全会計の歳入歳出予算を認定後、陳情審査報告（産業厚生常任委員会）、意見書案4件を審議し、全ての議件を原案どおり可決し閉会した。

平成26年度 各会計予算総額 単位：額は万円、伸率は%

会計区分	予算額	前年度対比	
		増減額	伸率
一般会計	69億8,700	6200	1
特別会計			
国民健康保険	10億6,803	▲411	▲0
後期高齢者医療	9,051	127	1
介護保険	6億2,288	2203	4
介護サービス	5億3,810	594	1
簡易水道	3億1,752	▲2596	▲8
公共下水道	1億4,995	651	5
農業共済	12億2,160	▲3338	▲3
病院事業会計	10億630	▲5017	▲5
合計	120億188	▲1587	▲0

第1回定例会で審議・可決等された案件

案件名	結果	賛・反
●報告	結果	賛・反
・行政報告		・教育行政報告
・町政執行方針		・教育行政執行方針
・例月出納検査報告		・定期監査報告
・総務文教常任委員会所管事務調査報告		
・産業厚生常任委員会所管事務調査報告		
・産業厚生常任委員会審査報告	可決	全員賛成
●条例制定	結果	賛・反
・土幌町庁舎等耐震改修事業基金条例	可決	全員賛成
・土幌町社会教育委員に関する条例	可決	全員賛成
●条例の一部改正	結果	賛・反
・職員の給与に関する条例	可決	全員賛成
・土幌高等学校の入学検定料等徴収条例	可決	全員賛成
・へき地保育所条例	可決	全員賛成
●人事・一般議案	結果	賛・反
・公平委員会委員の選任について	可決	全員賛成
・固定資産評価審査委員会委員の選任について	可決	全員賛成
・損害評価会委員の委嘱	可決	全員賛成
・農業共済事業事務費賦課総額及び賦課単価を定める事について	可決	全員賛成
・農業共済事業家畜共済危険段階共済掛金率等の変更について	可決	全員賛成
・辺地総合整備計画の変更	可決	全員賛成
・辺地総合整備計画の変更	可決	全員賛成
・北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について	可決	全員賛成
●平成25年度各会計補正予算	結果	賛・反
・一般会計（専決第5号）	可決	全員賛成

平成26年度

主要施策の概要

主要事業

▼庁舎耐震等改修事業（役場庁舎・コミセンの耐震化等改修 5億円）

▼高齢者住宅整備事業（若葉団地公営住宅建替2棟9戸1億5,082万円）

▼障がい者総合施設建設補助事業（9,053万円）

▼町づくり協働推進事業・パートナーシップ推進事業（1,419万円）

▼コミュニティバス試験運行事業（626万円）

▼予防接種事業（インフルエンザ予防接種助成を中学生まで拡大 1,224万円）

▼道の駅しほろ温泉施設設備改修事業（1,900万円）

道路・住宅・農林業

▼町道整備（継続4路線、新規2路線 1億9,300万円）

▼道営土地改良事業の継続実施

施（基盤整備5地区 1億6,070万円）

▼農道整備事業（農道整備1路線 4,500万円）

▼みのり野団地定住促進対策事業（子育て支援、太陽光発電システム導入助成 316万円）

▼未来につなぐ森づくり推進事業（民有林造林事業 1,070万円）

▼農業新分野開発推進事業（100万円）

教育・スポーツ振興

▼少人数学級教員配置（398万円）

▼教員補助員配置（特別支援員の配置 2,500万円）

▼小・中・高等学校関連施設整備（1,087万円）

▼サタデースクール事業（398万円）

▼食農体験学習事業（小・中学生対象 100万円）

福祉・保健・子育て

▼障がい者相談支援業務委託（相談支援体制の充実 3

13万円）

▼障がい者活動支援事業（就労事業、地域活動支援センター事業運営助成、団体活動助成 1,052万円）

▼乳幼児等医療費助成（未就学児から中学生までを対象 2,393万円）

▼特定健康診査等事業（825万円）

▼がん検診等事業（534万円）

▼妊婦健診事業（全妊婦対象で一般検査14回、超音波検査6回等の助成 513万円）

産業振興・雇用・労働

▼商品券発行助成事業（プレミアム商品券発行に対する助成 1,000万円）

▼商工業活性化推進事業（空き店舗対策事業ほか 1,349万円）

▼定住雇用促進貸付住宅建設助成事業（1,000万円）

▼失業対策事業（300万円）

▼企業立地促進対策（792万円）

<ul style="list-style-type: none"> ・一般会計（第6号） ・介護保険事業特別会計（第3号） ・介護サービス事業特別会計（第3号） ・簡易水道事業特別会計（第2号） ・公共下水道事業特別会計（第2号） ・農業共済事業特別会計（第3号） ・国民健康保険病院事業会計（第1号） 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度各会計予算 ・一般会計 ・国民健康保険事業特別会計 ・後期高齢者医療事業特別会計 ・介護保険事業特別会計 ・介護サービス事業特別会計 ・簡易水道事業特別会計 ・公共下水道事業特別会計 ・農業共済事業特別会計 ・国民健康保険病院事業会計 	<ul style="list-style-type: none"> ・音更町、土幌町、上土幌町をつなぐ国道241号線を冬期間安全に通行できるように、防雪柵の設置を求める件 ・意見書 ・農地中間管理機構設置に関する意見書 ・介護保険制度における要支援者への保険給付の継続を求める意見書 ・音更町、土幌町、上土幌町をつなぐ国道241号線を冬期間安全に通行できるように、防雪柵の設置を求める意見書 ・TPP交渉等国際貿易交渉に係る意見書 	<ul style="list-style-type: none"> 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 結果 	<ul style="list-style-type: none"> 全員賛成 全員賛成 全員賛成 全員賛成 全員賛成 全員賛成 全員賛成 全員賛成 全員賛成 全員賛成 賛・反
<ul style="list-style-type: none"> ・陳情 	<ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険病院事業会計 	<ul style="list-style-type: none"> ・産業厚生常任委員会付託・採択 	<ul style="list-style-type: none"> 結果 	<ul style="list-style-type: none"> 賛・反

清水 秀雄 議員
 中村 貢 議員
 大西 米明 議員
 飯島 勝 議員
 和田 鶴三 議員

ユートピアメールについて
 NPO法人士幌町障がい者支援の会・地域活動支援センターの支援について
 スポーツを通じた地域振興について
 子育て支援について
 介護・医療見直しに対する自治体の対応について

広聴活動

メールの評価と今後の対応は

改善策を検討し充実を図る



清水秀雄 議員

質問

ユートピアメールを始めてから10数年が経過している。メールの評価と今後の対応は。

小林町長答弁

開始から14年5カ月、寄せられた要望は270人で350件。貴重な意見・要望として町政への反映に努めており、生の声を聞く有意義な取り組みとして考えている。近年は若干減少傾向となっているが、改善策を検討し充実を図っていききたい。

質問

メール数は小林町長就任1期目4年間で169件、2期目123件で要望や意見が多かったと思われる。3期目は26件と極端に少なく、批判的

な意見を住所・氏名を書いてメールすることにためらいがあると思われるが、そこを改善する必要があるのではないかと。

小林町長答弁

住所・氏名を書かなくてもメールは受ける。私は行政のトップとして、批判していただけそれを謙虚に受け、その姿勢で行政を進めていききたい。

※「ユートピアメール」

3カ月に1回、広報紙に折り込み、町民の方々の声を町政に生かす広聴活動。郵便やフлакシミリ、電子メール等で町政に対する意見・要望をお寄せいただいている。



福祉支援

NPO法人士幌町障がい者支援の会、地域活動センターの支援について

各課連携のもと全面的にバックアップ



中村 貢 議員

質問

今年度は、障がい者総合施設、就労支援継続支援事業B型の施設建設が予定されていますが、NPO法人士幌町障がい者支援の会および地域活動支援センターの支援についての考えは。

小林町長答弁

平成26年度の予算案において、施設の管理費、光熱水費、地域活動センターの運営助成金、障害団体活動助成金、障害者就労事業助成金等合わせて1,218万8,000円に加え、障害者総合施設建設補助金として9,052万8,000円を計上している。

なお、障がい者総合施設は

質問

NPO法人が建設主体で各課連携のもと全面的にバックアップをし、今後とも法人運営あるいは事業が円滑に推進されるよう支援を行いながら、障がい者の方々が安心して暮らせる町の形成に努める。

質問

B型の設置に伴って、管理者、サービス管理責任者、生活指導員、職業指導員等の職種を置かなければならないという事になっていきます。人員の配置も含め、町長の考えは。

小林町長答弁

新しい施設で、どのような体制が必要なのかという点については、法人と充分協議しながら対応していきたいと思います。

※「就労継続支援事業所」

A型・B型2つの形態があり、A型は障がい者と雇用契約を結び「雇用型」であり、B型は契約を結ばず利用者が比較的自由に働ける「非雇用型」である。

平成26年 第1回定例会

一般質問

3月定例会では、5人の議員が一般質問に登壇し、理事者の考えをたどりました。内容を要約してお知らせします。全文については議会ホームページに掲載します。(6月中旬予定)

地域振興

スポーツを通じた 地域振興について

優れた指導者確保の方策を検討



議員 大西米明

質問

土幌町にも小中学校で全道・全国大会に出場し、活躍している子どもたちが大勢いる。子どもたちの潜在的な能力を引き出し、優秀な選手を育て、スポーツを通して地域振興につなげてはどうか。

小林町長答弁

一昨年からスポーツ合宿や大会誘致を行うため、土幌町スポーツ合宿等推進協議会が設置され、様々な活動が展開されているが、近年学校における指導者が減少している傾向であり、社会人指導者の確保、指導に携われる環境づくりが今後必要になってくることを認識している。

質問

全日本クラスで活躍したトップアスリートを社会人枠等を活用して町に雇用し、町の将来を担う子どもたちのためにスポーツ指導を行っていた代位は。

高度な技術を身につけたトップアスリートの人たちが地元に戻り、その技術を子どもたちに繋げられるようなシステムを土幌町が先陣を切って行っていたらいい。

小林町長答弁

今後、教育委員会とも連携し、情報収集を行うとともに、町や町内の企業・団体に於ける雇用や、あるいは、派遣契約における活用など、優れたスポーツ指導者確保の方策を検討したい。

子育て

子育て支援について

子育て支援事業の策定で議論を



議員 飯島 勝

質問

下居辺保育所が平成26年度より入所児の減少で認可外保育所となり、保育士と保育補助員の2名体制となる。少人数保育にも複数の保育士が関わられるような町独自で少人数の保育に対する子育て支援の検討が必要になってきたと思うが町長の考えは。

小林町長答弁

少子化の進行と都市における待機児童の解消の課題を受け、児童福祉法等の改定で少人数保育を推進するべく、家庭の保育と併せて小規模保育、居宅訪問型保育、更に事業所内保育が市町村の認可事業となったが、現状は地域実態と合わない面が多く活用が難し

質問

い面がある。今後、子ども子育て支援事業計画の策定で幼児教育の議論をしていくとともに、地域の保育体制は地域関係者と十分な協議を重ね対応したい。

少子化が進むなか、他の地域でも同じような課題が出てくる。地域の保育所、地域の子どもたちは地域で育てたい、または、認定こども園へ通わせたいなどの意見が出てくると思われるが、今後の対策は。

小林町長答弁

少人数保育では施設や保育従事者について、認定こども園への通園では送迎について問題がある。送迎を通園バスという意見もあるが経済的に不効率。いずれにしても地域の皆さんと十分協議して27年度以降対応していく。

介護・医療

介護、医療見直しに
対する自治体の対応は

第6期介護保険事業計画で体制補強



和田鶴三 議員

質問

国は、介護と医療サービスの提供を見直す医療・介護総合推進法案を決定した。これは介護と医療について大幅な負担増と給付減を盛り込んだ法案であり医療・介護制度がどのように変わるのか自治体として、どのような対策を講ずるのか。

小林町長答弁

改正内容は、

- ①地域支援事業の見直しとして介護予防（訪問介護、通所介護）を介護予防・日常生活支援総合事業に移行。
- ②施設サービスの見直し、特老ホーム新規入居者を原則要介護度3以上に限定。
- ③低所得者の保険料軽減。

質問

介護保険サービス利用料が2割負担となるが、その対象者は。

大森保健福祉課長答弁

見直し案では、単身で年金収入のみの場合280万円以上を対象としている。

質問

施設介護費では、一定程度以上の資産があると、負担増となるのか。

大森保健福祉課長答弁

現在の見直し案は、預貯金等が単身者で1,000万円以上、夫婦世帯で2,000万円を超えた場合は補足給付（食費・居住費）の負担軽減は対象外と想定されている。

平成26年度一般会計ほか8会計

予算委員会質疑

第1回定例会で付託された平成26年度各会計予算審査特別委員会（秋間紘一委員長）において、各委員から出された質疑の一部を要約してお知らせします。

一般会計

総務費

ふるさと納税

問 ふるさと納税という形での寄付について、管外に出られた土幌町とゆかりのある方との交流を持ってほしいが、そのPRについては。

答 周知方法として、ホームページが中心で広報紙によるPRもしたことがある。物産提供は行っていないが今後検討する。

移住・定住

パンフレット

問 新規に予算計上されているが、その規模と戦略は。

答 下居辺の移住体験住宅にも関連したパンフレットを作成し、北海道暮らしフェア東京会場に出展し、移住に向けたPRを考え、パンフレットはA4判の見開きで8ページ、2,000部を検討している。

問 道内多くの町が動いてパンフレットも類似したものが多いと感じている。土幌町独自の見栄えのするパンフレットの作成を望む。

コミバスの運行路線

問 コミュニティバス試験運行の路線は、今までと同じ路線か。

答 10月と2月に試験運行を行った結果、2月の利用者が倍になったことから、2月の路線を継承して状況を見ていきたい。

問 農村部も視野に入れた試験運行を含め、利用者アンケートを取り、住民ニーズがどこにあるか調査・検討し、本格的な運行を求める。

答 試験運行の中で利用者アンケート等を取り、どのような路線がいいのか、更に農村部、中土幌においても色々な角度で検討したい。



26年度に通年で試験運行するコミバス

十勝市町村税滞納整理 機構委託金

問 長期間滞納されている滞納者を滞納整理機構に徴収を委託しているが、支払い能力があるにもかかわらず滞納している方が。または、納税したいが財政的に困難で滞納している方も機構に委託しているのか。

答 滞納して払えないというより、習慣として税金を先に回せない、常時請求をしなければならぬ方が多い。再三徴収に行けば払ってくれる方が多く、この3年間に4件の方が完済している。

税金・公共料金 コンビニ収納

問 今後コンビニで支払いが行える税金・公共料金は。

答 町民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料、保育料であり、今後随時拡大したい。

美濃市交流 20周年の企画

問 美濃市との姉妹提携を結んで20周年に対し、100万円を予算化しているが、その企画内容は。

答 本町での「あかりアートの講座」開設に指導者の派遣を依頼し、作品を本場のアート展に出展する企画を考えている。

問 本町には美濃市および周辺の出身者がおり、高齢になってきていて出身地を訪問するのは難しいので、お互いの様子などをビデオレターにて紹介することを要望したい。

災害救助用 物資の内容

問 災害救助用物資で30万円計上されているが、どのような内容か。

答 今年は、非常用クワッカ1、200個を予定している。

問 期限切れに近い物はどう活用しているか。

答 期限切れとなる前に、学

校の防災教育で活用している。

問 全町の防災意識を高める材料として活用してはどうか。

答 貴重な提言として承り努力する。



備蓄している非常用食料

AEDの更新

問 機器購入費は、AEDの全面更新だと思つが、未使用でも更新をしなければならぬのか。

答 所有台数22台のうち6台が26年中にメーカーの使用期限が切れることによる更新であります。



民生費・衛生費

子ども・子育てシステム

問 子ども・子育て支援システム324万円、子ども・子育て関連3法に合わせた例規集の整備となっている。事業展開をどう進めるのか。

答 教育委員会から保健福祉課、子ども課に関わるものなので庁内で連携した検討会議を作つて進めたい。

安心安全づくり

事業委託

問 具体的な事業内容と委託先は。

答 高齢者対応の公住建設に伴い障がい者も含め見守りのために社会福祉協議会に委託。

生ごみ堆肥化容器の 購入実績は

問 生ごみ堆肥化容器(コンポスト)の購入助成が年間予算総額25,000円となつ

ているが実績件数を聞きたい。

答 平成25年の実績は11基で、当初予算は10基。

問 生ごみの減量化で音更町は減量するための機械導入補助があるが、本町の考えは。

答 生ごみをバイオマスプラントで有効活用するなど検討したい。



コンポストで「生ごみ」の減量化

労働費・農林業費・商工費

病畜処理事業運営 負担金の搬出先は

問 病畜の処理事業運営負担金の拠出先は。

答 十勝農協連が運営しているレンダリング施設に町村会経由で一括負担している。

失業対策

問 死亡畜処理のレンダリング施設については十勝農協連が運営している施設の一部を民間に譲渡する報道もあり、それにより生産者の負担が増加する可能性がある。

答 負担増になれば経営を圧迫することになり、畜産関係者は非常に不安を募らせている。負担金・助成金を拠出して自治体として、生産者に不安を与えないような対策を。

問 レンダリング施設の建設費は国、道が助成し、運営費等の一部を市町村、農協が負担しており、単なる民間施設というより公的施設としての要素が強い。

答 新聞報道で一部を民間に譲渡する記事が掲載され町村会・畜産関係者等が危惧していますが、生産者が不安に陥ることのないように取り組んでいきたい。

問 昨年は緊急雇用創出推進事業があったが、今年はない。生活を支える対策は考えているのか。

答 国の雇用対策制度以外に町独自の失業対策で取り組んでいる。国の制度は1年間で基本的にはそれがなくなれば切らざるを得ない。

問 毎年、補正で失業対策を行っている。例年どおり出せるのか。

答 今年度の雇用状況等を勘案して予算措置を講じていきたい。

道の駅しほろ温泉とガソリンスタンド

問 下居辺で土幌農協が運営しているガソリンスタンドが老朽化により撤収するという話が出ている。観光資源の少ない本町としては、この道の駅も大事な観光資源であり町長からもスタンドの存続をお願いできないか。

答 町としても観光地、あるいは中土幌であれば国道の通過地ということで、単なる組合員だけのサービス機能ということではないので、どういった条件なら続けられるのかも含めて農協と協議をさせていただく。



土木費

労務単価 引き上げの影響

問 労務単価が7.1%引き上げられたが、その影響は。



国道での路外逸脱事故

答 労務単価は各省庁の改訂に基づき決定しており、労働者に引き上げによる恩恵が充分あるように指導していきたい。

国道241号線の要請

問 国道241号線に防雪柵設置要請が出ているが、路外逸脱事故発生時に、開発局に対して検証を要請したのか。

答 その都度、開発局道路事務所と連絡を取り合い要請しているが、防雪柵の設置とわだち掘れの路面修正（オーバレイ）も要請している。

教育費

就学援助の受給者数

問 北海道内で4人に1人が就学援助を受給していると報道された。本町の小中学生の受給者数については。

答 本町は50人前後で推移している。児童生徒数530人で10%前後が受給している。

問 全道比でかなり低いので安堵しているが、生保基準額の引き下げと連動して受給者を減らすことになるか。

答 国の生活保護基準と連動して基準が規定されているが、特例措置で対象から外れる児童生徒を救済していく考えで十勝教育局からも要請があった。

土曜授業

問 サタデースクールの事業実施委託料397万円を計上している。現在土曜がゆとり教育ということで授業を実施

※レンダリング施設

レンダリング施設は死亡牛等を熱処理等を行い適切に処理する施設で、BSEの危険性を除去するための専用ラインも整備されています。

していないが、土曜授業を復活するとしたら、どのような事が考えられるか。

答 サタデースクールと土曜授業の兼ね合いの質問と思うが、土曜日に行われている現在の行事等の調査を行い検討していきたい。



サタデースクール（下敷き作り）

国民健康保険病院事業会計

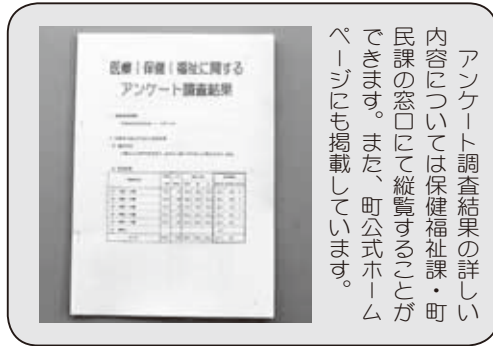
アンケート結果検討

問 アンケートの結果で、患者数の割に待ち時間が長いという市民の評価だが改善策は。

答 外来患者が受付から帰るまでの時間を1時間以内にな

るようになっている。時間が長く引くようであれば外来担当から外れている先生にお願いして対応している。

アンケート調査結果の詳しい内容については保健福祉課・町民課の窓口にて縦覧することができます。また、町公式ホームページにも掲載しています。



町民から信頼される病院に

問 病院は、3億円以上繰り入れてもやっていたかざるを得ない状況下です。そのためには、住民アンケートを真摯に受け止め、住民から信頼される病院に病院関係者を挙げてやらなくてはならない。院長は、その先頭に立っていただきたい。

答 住民と患者の要望、批判を具体的に把握し、それに基

づいて対応したい。アンケートの評価は、どちらから見てもかによって違うが、頑張ってもらいたい。頑張れば76パーセント、まあまあやっているのだから、もうちょっと頑張るといふふうに捉えているので見方を変えてほしい。

小児科

問 年間患者見込み数等が記載されていますが、小児科の部分でどの程度の患者数を見込んでいるか。また、前年の実績も一緒に報告をお願いしたい。

答 小児科については、明記はしていますが、小児科を診られる先生がいまないので、小児科の見込み数は入っていません。実績のほうもないに等しい状況です。

問 町民から小児科の設置を望む声も多く聞かれる状態であり、地元の病院で治療を受けられる環境づくりが必要と思うが今後の展開については。

答 小児科の医師が少なく難しいが、スポットでも配置す

るかどうかも含め新年度で検討したい。

総合診療

問 本町の国保病院においては、あらゆる患者に対応できる総合医を望むが現在の医師の対応は。

答 現在、専門外については総合病院等への転院・紹介で対応。

在宅診療

問 実際に在宅診療をするのに、今の病院体制で可能なのか。

答 通院が困難な人には内科医全員で各々の先生が週1回は訪問診療を行える体制を取っている。

介護サービス事業特別会計

特養施設に9,000万円の繰り入れ

問 特養施設は満床で介護度の高い人ばかりなのに一般会計から9,000万円も繰り入れなければ運営できないのか。

答 平成15年・16年は黒字でしたが、平成18年と24年に法改正があつて減額となり、収入の8割は人件費で、また、施設の老朽化に伴う修繕費や施設清掃、営繕、夜警の委託料が大半を占めている。



委員会調査報告

総務文教常任委員会

生ごみ資源化について

◎調査期日および場所

1月15日 委員会室
1月28日 砂川市
1月29日 恵庭市
3月4日 委員会室



◎調査の経過と概要

本町における生ごみ処理の現状は、可燃ごみとして他の可燃ごみと区別することなく

収集し、北十勝2町環境衛生処理組合焼却施設で焼却後、最終処分場に埋立をしている。可燃ごみのおよそ30%を占めている生ごみを、分別して収集し資源化することにより循環型社会の構築を図ることができるものと考え、委員会で先進的な取り組みをしている砂川市、恵庭市に赴き生ごみ資源化について視察調査した。

◎所感

生ごみの資源化を推進している2施設を視察した。砂川市「クリーンプラザくるくる」は、資源ごみリサイクル施設、可燃ごみ運搬中継施設、生ごみバイオガス化施設が一体となった施設で、生ゴミを原料としてバイオガス化処理し発電・排熱利用している。リサ

イクル工房・展示コーナーもあり、ボランティアの家具職人が修繕した家具や自転車を展示・販売しており、利用率が高いことからリサイクル全体に対する意識の高さが伺える。また恵庭市では、既存の下水終末処理場・し尿処理施設に生ごみ処理施設を新設し、新たなバイオマスとして生ゴミを混入し従来よりもガス発生量を増大させ発電やエネルギーの有効活用を図っている。市民提案を基に施策が策定されるなど市民の意識の高さが伺える。

いずれも、家庭ごみの約30%を占める生ごみを、可燃ごみと分別して収集することにより、生ごみを循環資源としたバイオガス化事業であり、両施設とも住民の理解と協力のもと運用に大きなトラブルなく、当初の計画通り順調に事業が推進されている。土幌町において、生ごみを可燃ごみとして焼却処理していることで特に大きな問題はなく一部は家庭で処理されているが、視察した2施設のよう

活用することは一考の余地があると思われる。本町では現在、公共4施設(病院・特老・給食センター・ケアハウス)から排出される生ごみを、酪農家のバイオガスプラント施設へ搬入し活用している。今後、畜産の生産体系の再構築と合わせ家畜ふん尿と生活廃棄物の生ごみを利活用したバイオガスプラントの設置を促し、消化液を活用した循環資源活用型農業も目指してはどうか。取り組みにあたっては生ごみ自体の分別収集が必要となり、収集方法や収集経費など解決すべき課題は多い。何より住民の理解を得なければ実現は困難であるが、住民一人ひとりが「生ごみ＝資源」という意識を共有できれば、行政と住民が協働で取り組むことの価値は十分に見出せるシステムが完成する。生ごみを資源として活用しエネルギーの再利用に繋げていくことは循環型社会の構築に大きく寄与するものである。

ごみ有料化後8年が経過する中で、可燃ごみ排出量は1,000トンを挟んでわずかな

増減で推移してきたが、本年度は初めて1,100トンを超える状況であり、分別もやや緩慢な状況が見られ今後が憂慮される。そのような中、生ごみの分別収集は資源という意識と、ごみ減量化に向けた取り組みを改めて認識することができ、一般廃棄物の発生抑制に有効な手段である。ごみ処理は2町で歩調を揃え計画検討を行っている状況にあり、さまざまな施策を組み合わせることにより、より効果的な事業展開が図れるものと思慮する。



国民健康保険病院の経営について

◎調査期日および場所

- 1月15日 委員会室
- 2月7日 国保病院
- 2月24日 委員会室

◎調査の経過と概要

第5期町づくり総合計画における国保病院の基本方針は、企業としての経済性を発揮することにも、公共の福祉を増進するよう運営していくことを経営の基本原則とし、また国の公立病院改革ガイドラインにより平成20年度に策定した改革プランの中で、今後果たすべき役割が地域医療確保のためと位置づけられていること、併せて平成25年8月30日から9月10日にわたって町が実施した医療、保健、福祉に関するアンケート調査結果も参考にその実態を調査した。

◎所感

国民健康保険病院は本町において唯一の医療機関であり、町が進めている福祉村構想の中でも重要な拠点となっている。しかしながら、その収支は恒常的に厳しい状態が続き、一般会計から毎年3億円以上（平成24年度3億2,000万円）も繰り入れなければ運営できない状況にある。しかし、議会は町民からの信頼を得ている必要不可欠な病院として、その存続のため財政負担はやむを得ないとこの繰り入れを容認してきた。

今回、所管調査を実施するにあたり、事務担当者、看護師、医師から今年度の経過、業務実態を聴取した。平成25年度は、医師数の1減、医師研修費削減等により、若干改善される見込みであるが、今後医師体制については代診医（人件費1,600万円程度）の割合を減らし、本町医師で行ってはどうかと考える。

議会に寄せられた町民の声

や町が昨年実施した「医療・保健・福祉に関するアンケート調査結果」の内容を鑑みると、町民からの病院に対する信頼が失われていることが読み取れる。今後は理事者の意向を参酌し、早急に改善に向けた行動が必要と思われる。そして、町民に信頼される「よい病院づくり」に向けて、病院には懸命な努力を求めよう。しかし、以上のことを真摯に受け止め実行したうえで、なおかつ改善もまた町民からの信頼も取り戻すことができなるとするならば、公設民営化の検討を進めていくことが必要ではないだろうか。

最後に、管内の他町立病院（150床 回答数入院患者55名、外来患者301名）の満足度調査では、医師、職員への処置または接遇に対する不満は入院、外来とも1%未満、外来の診察終了後から会計までの待ち時間は、10分以内が、71.9%との結果であった。病院はこの数字の持つ意味をよく噛みしめて欲しい。

議会 日誌

「1月」

- 1日 土幌高原で初日の出を迎える会
- 6日 交通安全祈願祭
土幌消防団出初式
新年交礼会
- 7日 商工会員合同新年会
- 12日 成人式および新成人交歓会
- 15日 全員協議会
総務文教常任委員会

- 16日 産業厚生常任委員会
自衛隊協力団体新年交礼会
- 22日 広報特別委員会
- 28日～29日 総務文教常任委員会
委員会所管事務調査
- 31日 広報特別委員会

「2月」

- 6日 広報特別委員会
- 7日 産業厚生常任委員会
所管事務調査
- 13日 北十勝4町議会協議連
正副委員長懇談会
- 16日 土幌岐阜会総会
- 21日 十勝町村議会議長会
定例会
- 24日 産業厚生常任委員会
所管事務調査

「3月」

- 1日 土幌高校卒業式
- 3日 北十勝消防事務組合
議会臨時会
- 4日 議会運営委員会
- 7日～14日 第1回定例町議会
- 7日 予算審査特別委員会
全員協議会
- 7日 総務文教常任委員会

- 9日 みんなで教育を考えよう集い
- 14日 土幌中央中学校卒業式
証書授与式
- 24日 土幌町社会福祉協議会
評議員会
- 25日 北十勝2町衛生処理
組合議会定例会
- 26日 北十勝消防事務組合
定例会
- 27日 土幌町遺族会合同慰霊祭
- 27日 広報特別委員会

教育委員就任にあたって

教育委員会委員 時光 早苗さん



宮本委員の後を受け、平成25年10月1日付けて未成年の保護者の立場から教育委員に就任させていただきました。この重責に身が引き締まると同時に恐れ多いというのが正直な心情です。

就任以来およそ7カ月、委員会、研修、先生達の勉強の場である研修大会ブレ大会や学校行事への出席、学校関係者の方々との交流と、どちらかといえば受け身であった自分の立ち位置を見失うような意識の転換を迫られるような混乱と緊張の連続です。

また、学校教育や教育行政、そこでの委員の役割など分からない事ばかりでした。そんな私の疑問に答え行動で示してくださいましたのが先輩委員や

委員会職員の方々です。

今後多くの方々のお話を伺い勉強させていただくことで委員としての意識の向上に繋げていけたらと思っています。そして、現在の私に出来る事は有識者の皆さんとは少し違つた一保護者の素朴な視点から意見を述べていく事を考え、責務を果たしていきたいと思っています。

今、土幌町では「土幌町いじめ防止基本方針」が定められようとしています。これは大津市の中学生自殺事件の社会的影響を鑑み国が平成25年に定めた「いじめ防止対策推進法」に基づくものです。勿論これを定めるまでもなく、学校では対策が取られ、子どもたちのためにあらゆる手段

を講じていただけるものと思えます。

昨年、私の母校（上土幌小学校）から「創立100周年記念行事のお知らせ」が届きました。幼馴染みや先生の顔、様々な出来事が思い浮かんで、懐かしく暖かい気持ちになりました。

「いじめ」はやり過ぎれば終わるものではなく、こうした数十年後の郷愁さえも人生から奪い取る行為です。

土幌町が誰にとっても誇れるわが町、故郷であるためのお手伝いを微力ながらさせていただきます。どうぞ、よろしくお願いたします。

議会ホームページをご覧ください



町民の代表である議員の活動内容を広く住民にお知らせし、開かれた議会を目指すためにホームページを開設しています。

アクセス方法は土幌町のホームページのメニューから土幌町議会を選ぶか、次のアドレスを入力してください。

<http://www.shihoro.jp/hp>

6月定例会を傍聴しませんか。

第2回定例会は、6月13日から開催を予定しています。

詳しい日程については、チラシ等でお知らせしますので、皆様の傍聴をお待ちしています。



議会だよりは1年間に4回の定例町議会ごとに発行しているが、どうして編集に2カ月もかかるのかと言われた。

議会の議事録作成を外注して、届いて編集会議で要約の分担があり、その後3回の校正の編集会議がある。1回目の編集会議までに2週間、要約文を提出し、割り付けて2週間、その後、3回目の校正会議が1週間ずつ印刷で1週間と2カ月が過ぎてしまつた。十勝管内でも編集会議の回数を減らす努力をしている町村もあるが、私達は間違つて伝わることはないよう慎重を期している。

3月は第1回定例議会です。算審査特別委員会があつて、26年度の町行政の予算執行が審議される。特に町立国保病院特別会計では一般会計から3億円ほどの繰り入れがなければ収支が保たれないので、これまでより質疑応答の時間が長くなった。

土幌町の開町100年まであと8年、未来につながる町民の願いを反映したいものです。

飯島 勝